

地震で地面が揺れています!!



危ないところはどこかな？

● 上の絵を見て、危ないと思ったところを、^{あぶ}枠内^{わくない}に書きこみましょう。



家の中



写真提供：野島断層保存館

固定していない家具は転倒して中の物が散乱することがあります。転倒した家具がドアの前に倒れると、避難経路がふさがり、逃げられなくなる場合もあります。大きな家具を壁に固定したり、キャスター付きの家具はロックしたり、開き扉にはストッパーをつけるなどの対策をしておきましょう。

避難経路確保のために部屋の出入り口や廊下には、なるべく家具や物を置かないようにしましょう。

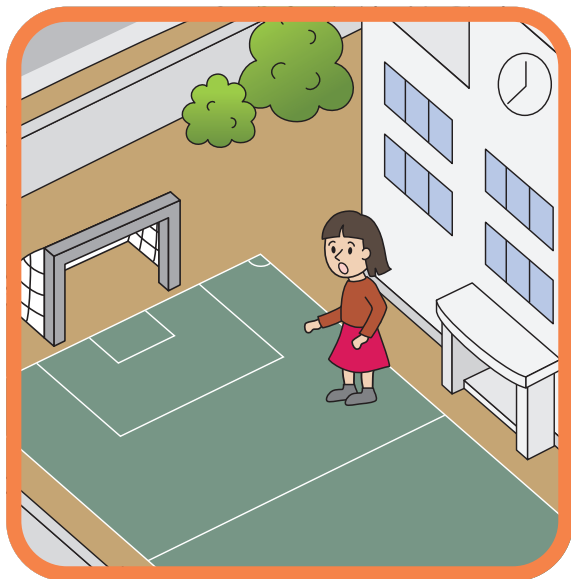
住宅街



写真提供：兵庫県神戸市

住宅街では、ブロック塀や電信柱が倒壊するおそれがあります。強い揺れを感じたら、すぐにはなれて倒れてくるものがない公園などの広く安全な場所へ避難しましょう。地震の後には、道路や歩道にはたくさんの落下物があり、とても危険危険です。建物の壁がはがれ落ちたものや、倒れた電信柱やブロック塀などが散乱しています。特に、倒れた電信柱から垂れ下がった電線は、触ると大やけどの危険があるので絶対に近寄らないようにしましょう。

学 校



教室内で揺れを感じたときは机の下に潜^{もぐ}って落下物から頭を守りましょう。廊下や校庭では、中央部に集まってしゃがんで揺れがおさまるのを待ちましょう。

体育館では、天井に照明器具がたくさんあり落下した際^{さい}に危険なので、もし持ち物があればそれで頭を守りましょう。

どんな場所であっても揺れがおさまった後、あわてて外に飛び出すなど勝手な行動はせずに、先生の指示に従いましょう。

ビル街



地震の揺れで、ビルの窓ガラスや看板などが、壊れて落ちてくるかもしれません。ビルから離れて、手や腕、カバンなど身近なもので頭を守りましょう。

落下物から頭を守り、ビルの倒壊に注意しながら、なるべく広く安全な公園などの場所に避難しましょう。近くに公園などの場所がない場合は、がんじょうな建物の中に逃げましょう。

山

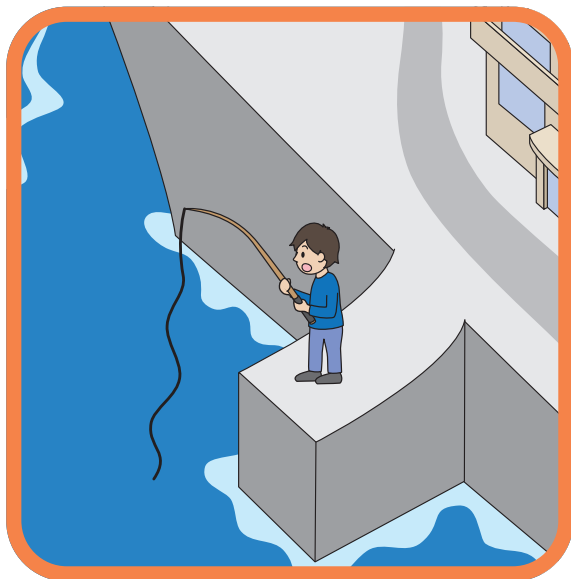


写真提供：(一財) 消防防災科学センター

地震の揺れによって地盤がゆるんで、土砂崩れが起こることがあります。家の付近に山がある場合は、土砂崩れにより家が倒壊してしまうおそれがあります。

揺れがおさまったらすぐに避難場所か、近くにあるじょうぶな建物の二階以上に避難しましょう。避難することがむずかしい場合は、家の中でも山に一番遠い部屋で待機しましょう。

津波



写真提供：東北地方整備局

海岸付近では、津波が1分で到達することもあります。地震の揺れがおさまったら、すぐに高いところへ避難しましょう。

津波は、第一波よりも次に来る波の方が大きい場合があります。第一波が小さくても決して戻らずに、津波警報・注意報が解除されるまでは、警戒・注意を続けましょう。